

2027年3月期 第2四半期（半期） 決算説明資料

再生医療をあたりまえの医療に
Creating a Future for Regenerative Medicine

株式会社ジャパン・ティッシュエンジニアリング（東証グロス：7774）

2026年10月30日



2Qは一時費用の計上があったが、上期実績で黒字化を維持
ジャック受注は計画達成に向けて順調に推移

2027年3月期 上期実績

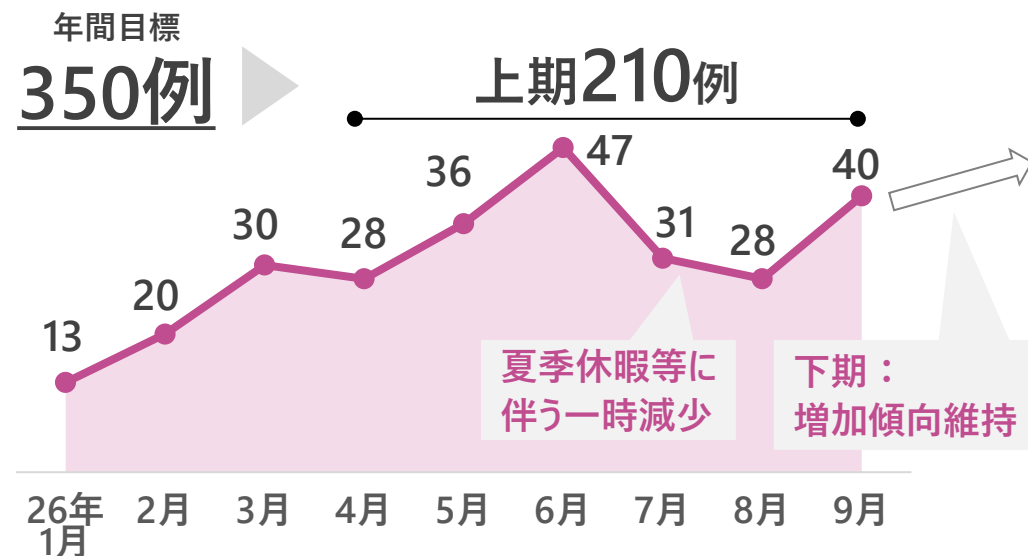
売上高 **1,499**百万円
前年比 +500百万円

営業損益 **0**百万円
前年比 +376百万円

中間純損益 **4**百万円
前年比 +375百万円

売上伸長は堅調
2Qは一時費用計上

ジャック受注数



- 上期**210例**、今期累計**326例**（下期予定分含む）まで進捗※1
- OA向けに**158**施設の契約完了、今期累計**103**施設受注※1

※1: 今期累計受注数および契約施設数は2026/10/29時点

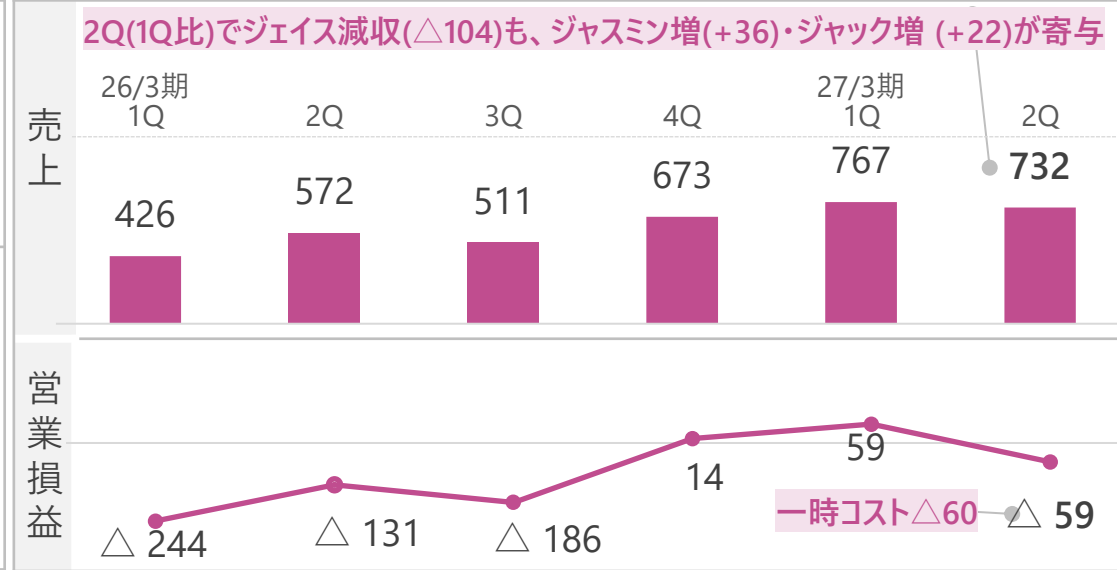
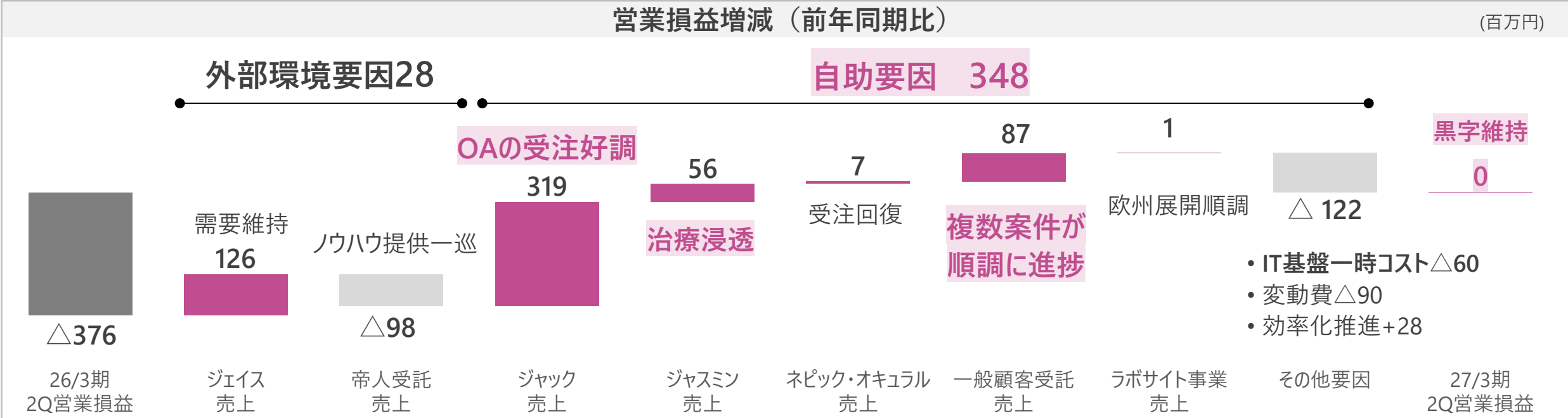
2027年3月期 上期業績

- ✓ 帝人受託を除く全事業で増収を達成。ジャック大幅増収により基礎収益力を着実に強化
- ✓ 通期見通しは変更なし

単位：百万円 (百万円未満切捨て表示) (増減率は円単位で計算)	2026年 3月期	2027年3月期			
	上期実績	上期実績	対前年同期		通期見通し 2026.5.1開示
			増減額	増減率	
再生医療製品事業 売上高	633	1,144	510	80%	2,070
皮膚領域（ジェイス、ジャスミン）	381	564	183	48%	1,070
軟骨領域（ジャック）	203	✓ 522	✓ 319	157%	900
角膜領域（ネピック、オキュラル）	49	57	7	16%	100
再生医療受託事業 売上高	227	215	△11	△5%	640
一般顧客受託	106	193	87	81%	430
帝人受託	121	22	△98	△81%	210
ラボサイト事業 売上高	137	139	1	1%	360
売上高合計	998	1,499	500	50%	3,070
売上総利益	542	967	424	78%	2,000
販売費及び一般管理費	918	967	48	5%	1,900
営業損益	△376	0	376	-	100
経常損益	△369	7	376	-	110
中間純損益	△371	4	375	-	100

2027年3月期 上期業績の概要

外部環境要因	✓ジェイス熱傷は2Qに中止率増加あり、1Qより受注が減少したが、上期全体で安定した需要を維持 ✓帝人受託はノウハウ提供が一巡したことにより減収
自助要因	✓ジャックは、 順調に受注数増加。施設拡充も順調 （上期210例の症例獲得、158施設と契約済※1）※1: 2026/10/29時点 ✓ジャスミンは 施設拡充／患者啓発が奏功し、受注増加 ✓2Qに IT基盤一時コストを計上（約60百万円・計画内）



再生医療製品事業の業績概要

皮膚領域

ジェイス



熱傷は2Qに中止率増加あり1Qより受注が減少したが、**安定した需要を維持**。先天性巨大色素性母斑及び表皮水疱症も定期的な受注を獲得。適正使用の推進と情報提供活動を通じて普及拡大に取り組む。

ジャスミン



受注数は**上期22例、今期累計33例**※1まで進捗。
マルホ社と、国内販売に関する独占パートナーシップ契約を締結。連携して白斑領域におけるジャスミンの認知向上・導入施設拡大に取り組む。

軟骨領域

ジャック



受注数は**上期210例、今期累計326例**※1まで進捗し、堅調を維持。
OA向けに**158施設**と契約完了、今期累計**103施設**から受注あり。
継続的な受注が見込める新規施設の開拓も、計画通り進捗。
協業契約を締結したOSB社※2とともに、再生医療と骨切り術を組み合わせた包括的な「膝関節温存治療」の普及および販売拡大を目指す。

角膜領域

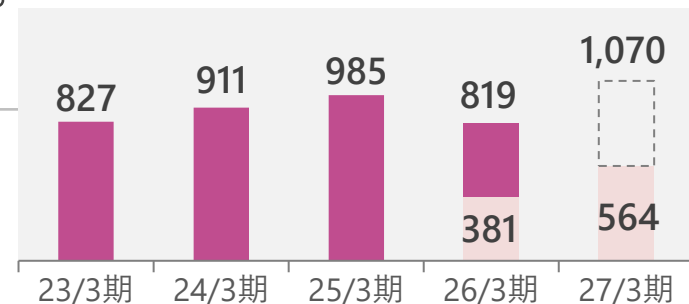
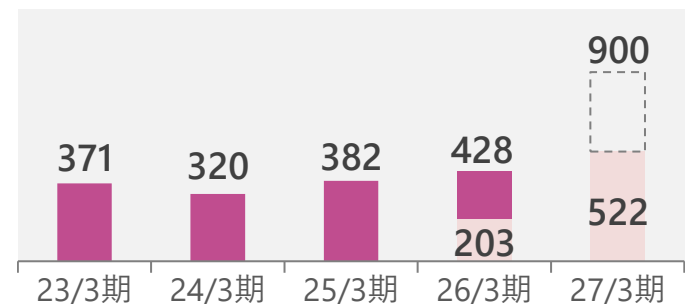
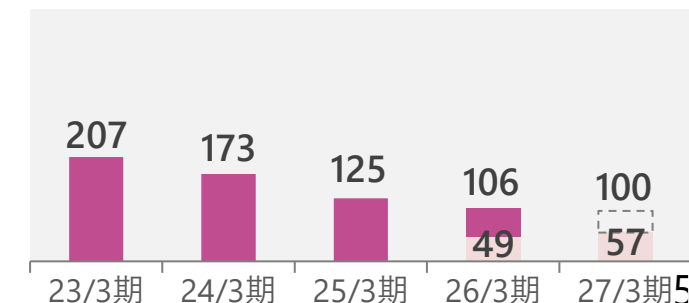
ネピック
オキュラル



既存施設を中心に販売は堅調に推移。
引き続きニデック社との連携のもと、新規施設開拓および治療啓発を進める。

売上高推移 (百万円)

■ 上期実績 □ 下期予想



※1: 2026/10/29時点、下期予定分を含む受注数

※2: 人工骨メーカーのオスフェリオンバイオマテリアル社

ジャスミン：マルホ社と販売提携



「ジャスミン」を必要とするすべての患者さんに
治療の機会をお届けするビジョンで合意・提携

- 白斑（潜在患者15万人）において、既存治療で効果が不十分な患者には、「ジャスミン」を用いた外科的治療が求められる一方、**医療機関・患者の認知度が低い**
- 更に、外科的治療は専門施設で行われるため、日常的に通う地域の**皮膚科クリニックから専門施設へと患者を円滑に移行するための「病診連携」も課題**
- **皮膚科領域の医療用外用剤国内トップシェアのマルホ社と組むことで、全国の皮膚科への情報提供を強化し、認知を広げるとともに、円滑な病診連携を後押し**
- 数年以内における年間100例以上の定常的な達成に向け、全国の専門施設における治療体制を確立する

ジャック：OSB社と販売提携



OSferion
Biomaterials

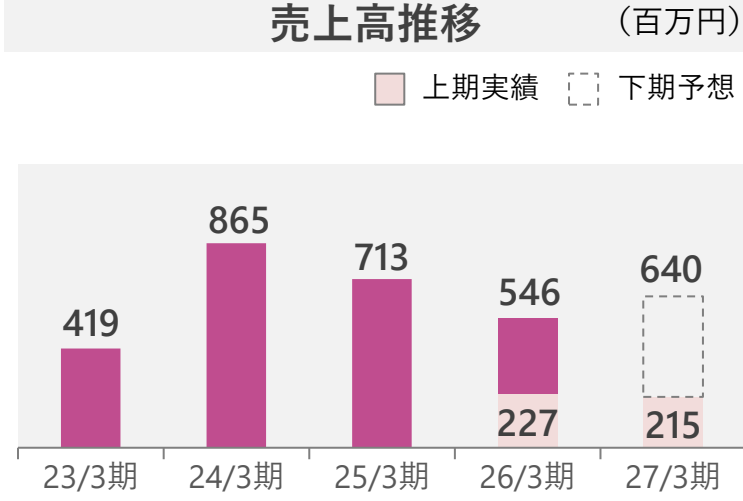
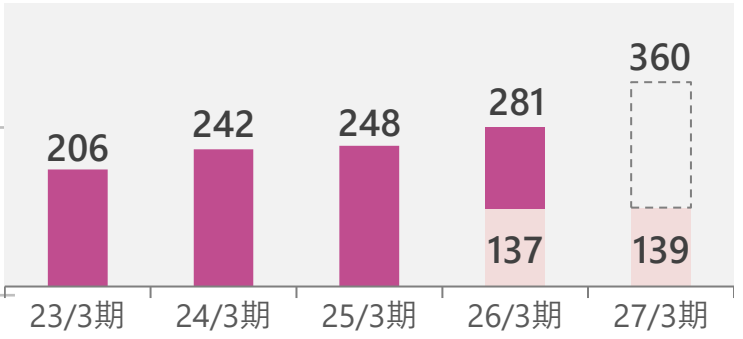
再生医療と骨切り術を組み合わせた包括的な
「膝関節温存治療」の普及を進めるビジョンで合意・提携

- OA患者には、「軟骨修復」と、ゆがみを正し負担を軽減する「骨切り術※1」を組み合わせた治療が求められる
- 骨切り術は**約13,500件/年**の手術が行われている。また、変形性膝関節症に使用されるジャックのうち**6割**が骨切り術と併用されている
- 骨切り術の人工骨・骨補填材料において**国内トップシェアのOSB社と組み、年間1,000例達成に向けた「軟骨修復+骨切り」治療の使用施設の拡張と提案力強化を狙う**
- **2Qにおいて、協業開始**

※1: 骨を切って角度を矯正し、荷重バランスを変えることで痛みを和らげる外科手術で、患者自身の関節を残すことができる。

再生医療受託事業・ラボサイト事業の業績概要

再生医療受託事業	一般顧客	高付加価値な「治験製品製造及び治験業務支援フェーズ」へ複数案件が移行し、増収に寄与。	
		■ アクチュアライズ社	国内第Ⅲ相臨床試験の準備開始
		■ VC Cell Therapy社	iPS細胞製品の実用化に向けた受託を継続
		■ メトセラ社	治験製品製造契約を締結、安定収益に寄与
ラボサイト事業	帝人	受託収入はノウハウ提供が一巡し減収。 マイルストーンは4Qに計上される前提で計画。	
	欧州	現地生産による本格展開に向け、10月付でドイツでの子会社を設立し稼働開始、売上拡大に向けて前進。定期顧客8社への丁寧なフォローを実施するとともに、新規顧客獲得活動も順調に進捗。	
	国内	これまでの化粧品・化成品中心の市場から、医療機器・素材市場へのアプローチを本格化。	
	新規領域	研究用腸管上皮モデルは、大阪大学からの技術移管を完了し、製品化に向けた開発を推進。	



受託事業のポートフォリオ強化



機能的単心室症を対象とした自家細胞治療薬「JRM-001」



水疱性角膜症を対象とした再生医療用細胞製品「AE101」



臓器移植治療における免疫拒絶抑制に向けた誘導型抑制性 T 細胞「JB-101」



網膜変性疾患を対象とした iPS 細胞を用いた製品「MastCT-03」

- 顧客基盤の多角化に加え、開発パイプラインが高付加価値フェーズへ進展し、増収に寄与
- これまで以上に「イノベーションパートナー」としての独自価値提供を強固に推進
- BioJapanに参加・登壇し、再生医療分野の取り組みを発信

ラボサイト事業のドイツ子会社設立



社名：Japan Tissue Engineering Europe GmbH

所在地：ハイデルベルク、ドイツ

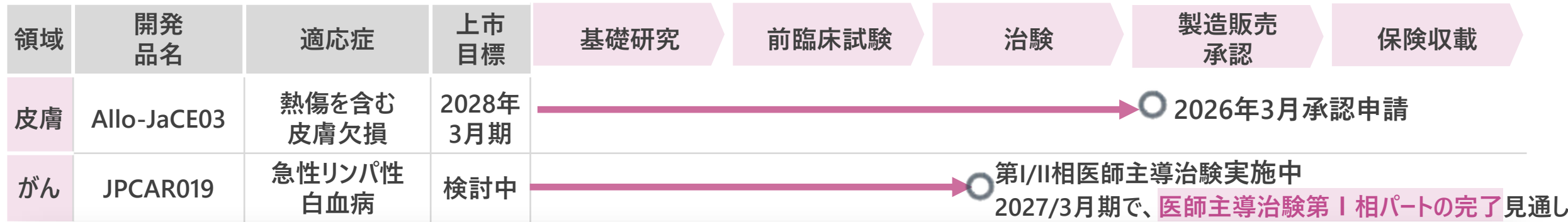
事業内容：ラボサイト製品の開発、製造、販売

設立時期：2026年10月

- 10月付でドイツ子会社「Japan Tissue Engineering Europe GmbH」の設立完了
欧州市場展開に向けた現地活動を開始
- 現地の設備完備シェアラボと提携し、早期に強固な安定供給体制を確立する
- 動物実験代替法の先進市場である欧州で、シェアの拡大を図る

成長施策に関する進捗：新規パイプライン

✓ 1Q決算説明資料より変更なし。順調に開発進捗中。



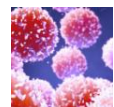
医療機器
乾燥他家（同種）培養表皮 Allo-JaCE03



他人の細胞を原材料とし、
大量生産・ストック可能な新製品

今期中の承認に向け、**順調に進捗中**

自家CAR-T細胞 JPCAR019



非ウイルス性ベクターの採用により製造コストを低減
既存の治療では適応外になる患者へ治療の選択肢拡充

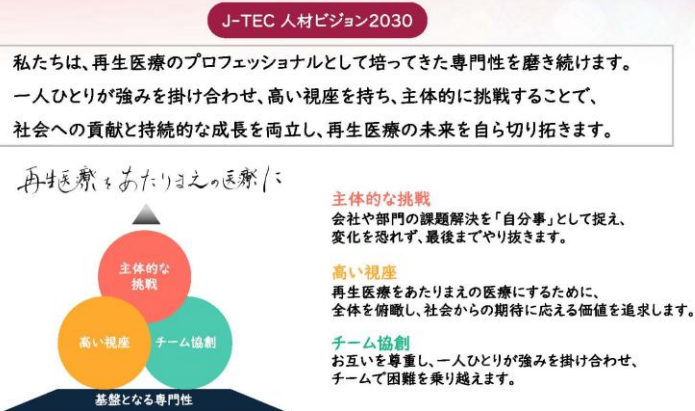
今期中に**第Ⅱ相パートへの移行に向け進捗中**
がん以外の他疾患への事業拡大を検討開始

新規探索：脱毛症への新規技術探索として、
「毛包オルガノイド」の基盤技術の構築を開始

「新あいち創造研究開発補助金」に採択

✓ 持続的成長に向けた人材ビジョンの策定と、地域連携による社会貢献活動を推進。

J-TEC人材ビジョン2030を策定



- ✓ 企業価値向上・持続的成長に向けた人材戦略指針
- ✓ 「専門性」を基盤とした3要素を強化する
 - ― 主体的な挑戦
 - ― 高い視座
 - ― チーム協創

竹島水族館との共同企画を開催



- ✓ 愛知県蒲郡市にある蒲郡市竹島水族館との初コラボ
- ✓ 展示を通じて、一般の方に「再生」を身近に感じていただき、再生医療の正しい理解と普及を促す狙い
- ✓ 蒲郡市出身漫画家の大橋裕之氏のキャラクターが展示案内を務め、幅広い世代との接点を創出

セグメント別営業損益

再生医療製品事業が黒字化をけん引

単位：百万円 (百万円未満切捨て表示)	営業損益			要因
	2026年3月期 上期実績	2027年3月期 上期実績	増減額	
再生医療製品事業	0	405	405	ジャックOAの大幅増収
再生医療受託事業	116	117	1	自社開拓は好調も、帝人受託のノウハウ提供一巡
ラボサイト事業	42	23	△19	海外向け戦略投資
調整額	△535	△547	△11	IT基盤一時コスト△60を効率化推進で相殺
合計	△376	0	376	

将来の成長に向けた投資

単位：百万円 (百万円未満切捨て表示)	2026年3月期 上期実績	2027年3月期 上期実績	増減額
研究開発費	268	252	△16
有形・無形固定資産取得額	6	75	69

貸借対照表

十分な現金と純資産があり、健全な財務体質を維持

単位：百万円 (百万円未満切捨て表示)	2026年3月31日	2026年9月30日	増減額
現金及び預金	3,250	3,329	79
その他流動資産	931	975	44
固定・繰延資産	1,500	1,465	△35
資産計	5,682	5,770	87
流動負債	560	644	83
固定負債	32	32	-
負債計	592	676	83
資本金	3,997	3,997	-
資本準備金	1,827	1,827	-
利益剰余金	△734	△730	4
純資産	5,090	5,094	4
負債・純資産合計	5,682	5,770	87

本開示資料は、投資者に対する情報提供を目的として将来の事業計画等を記載したものであって、投資勧誘を目的としたものではありません。当社の事業計画に対する評価及び投資に関する決定は、投資者ご自身の判断において行われるようお願いいたします。

また、当社は、事業計画に関する業績目標その他の事項の実現・達成等に関しその蓋然性を如何なる意味においても保証するものではなく、その実現・達成等に関して一切責任を負うものではありません。

本開示資料に記載されている将来に係わる一切の記述内容（事業計画に関する業績目標も含まれますがそれに限られません。）は、現時点で入手可能な情報から得られた当社の判断に基づくものであり、将来の経済環境の変化等を含む事業計画の前提条件に変動が生じた場合その他様々な要因の変化により、実際の事業の状態・業績等は影響を受けることが予想され、本開示資料の記載内容と大きく異なる可能性があります。

株式会社ジャパン・ティッシュエンジニアリング

〒443-0022 愛知県蒲郡市三谷北通6-209-1

TEL: 0533-66-2020 FAX: 0533-66-2019

Email: jtec-info@jpte.co.jp 12

参考資料

2026年5月1日開示の「事業計画及び成長可能性に関する事項」より抜粋しております。

リリース日付	内容
2026/6/17	2026年度「新あいち創造研究開発補助金」に採択
2026/6/19	ドイツ連邦共和国における製造販売子会社の設立を決定
2026/7/27	再生医療と骨切り術を組み合わせた膝関節温存治療に向け業務提携
2026/8/18	令和 8 年度ヘルスケア産業国際展開推進事業費補助金に採択 ✓ 重症熱傷等に対する医療ニーズを有する 台湾を中心とした、製品事業の海外展開に関する補助金 採択
2026/9/24	竹島水族館と共同企画 ささった釣り針だいじょうぶ？ 展を開催
2026/10/28	J-TECとマルホ、自家培養表皮「ジャスミン」の販売パートナーシップ契約を締結

再生医療製品事業

患者自身の細胞を採取・培養した製品を保険適用下で提供



ネピック／オキュラル

自家培養角膜上皮／自家培養口腔粘膜上皮

■ LSCD（角膜上皮幹細胞疲弊症）



ジェイス

自家培養表皮

■重症熱傷 ■先天性巨大色素性母斑 ■表皮水疱症



ジャスミン

メラノサイト含有自家培養表皮

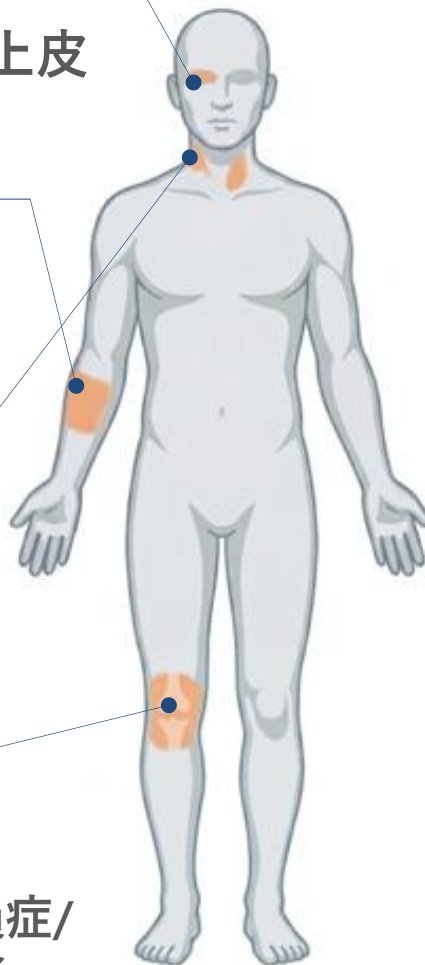
■白斑



ジャック

自家培養軟骨

■ OA（変形性膝関節症） ■ 外傷性軟骨欠損症／
離断性骨軟骨炎



ラボサイト事業

動物実験の代替として、ヒトの細胞で化粧品や薬などの安全性を確認するキットの販売



ラボサイト LabCyte

研究用ヒト培養組織

■表皮モデル ■角膜上皮モデル



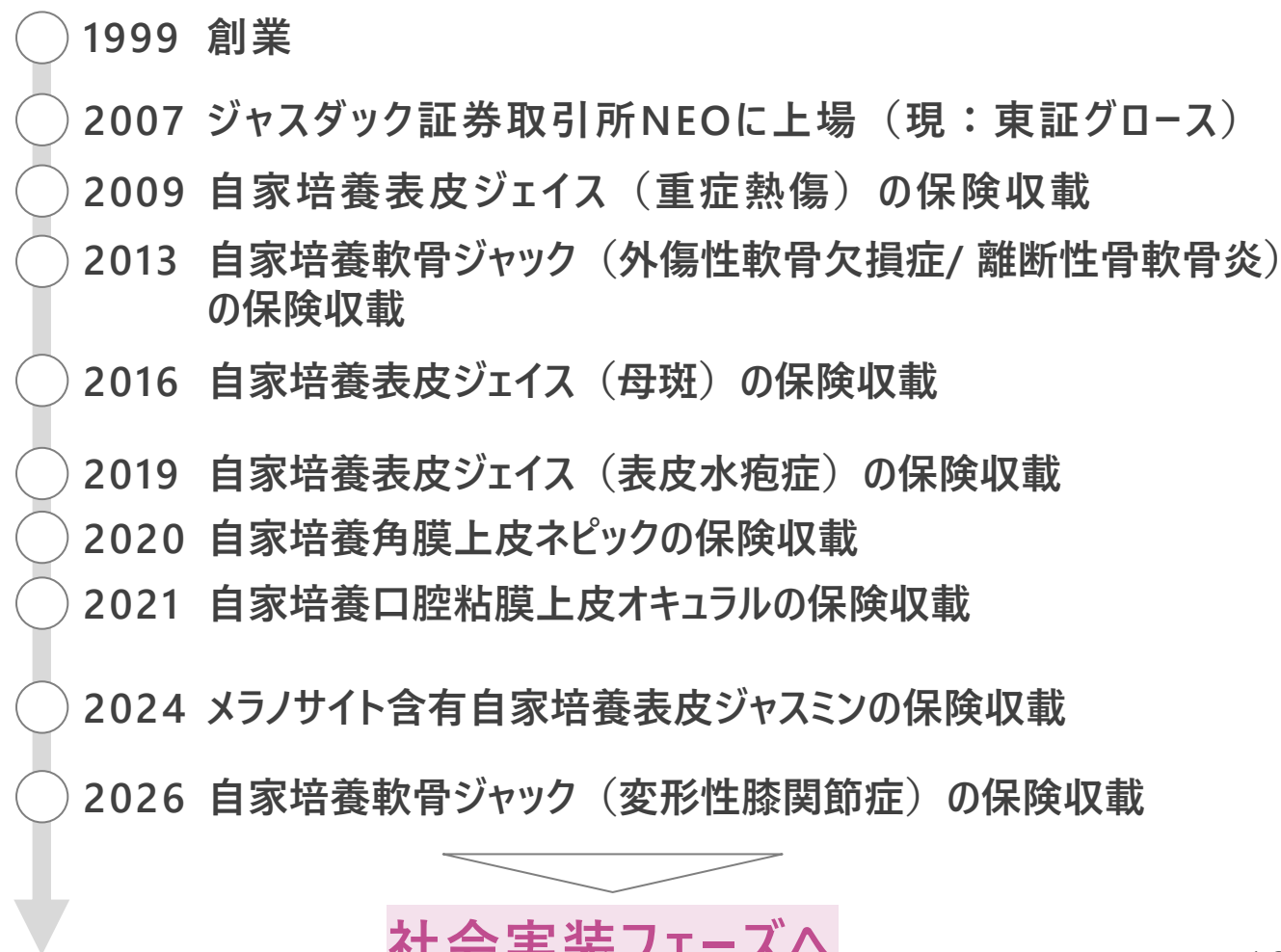
エピセンサ EpiSensA

当社製品を用いた、
国際的なガイドラインに準拠した
皮膚感作性試験法

■物質が皮膚アレルギーを引き起こす
可能性を評価する試験

四半世紀にわたる5製品の上市経験を通じ、 医薬品と異なる自家細胞の独自プラットフォームを構築

会社名	株式会社ジャパン・ティッシュエンジニアリング (J-TEC)
本社	愛知県蒲郡市
代表者	代表取締役 社長執行役員 山田 一登
設立	1999年2月1日
資本金	39億9,767万円
従業員	200人（2026年3月末現在）
事業内容	1. 再生医療製品事業 2. 再生医療受託事業 3. ラボサイト事業
主要株主	帝人株式会社（57.7%） 株式会社ニデック（10.4%）



日本初の再生医療プラットフォームとして 安定した収益基盤構築と飛躍的な成長を目指す



【実績】日本初の再生医療 プラットフォーム

1999年創業。四半世紀にわたり国内の
再生医療産業を牽引

5

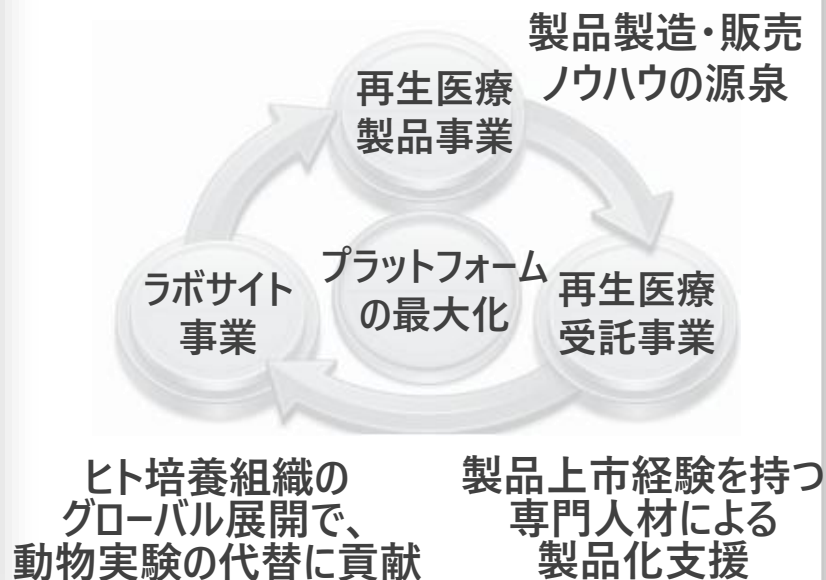
世界トップクラスの5品目承認実績

3,700+

3,700例を超える患者への製品提供
実績と医師との強固なネットワーク



【基盤】3本柱による強固な ビジネスモデル



【成長】売上50億円達成に 向けた成長ドライバーの存在



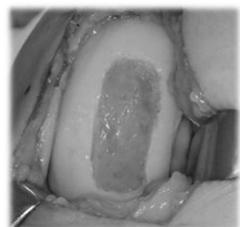
国民病の変形性膝関節症
に保険収載されたジャック
(目標売上30億円)



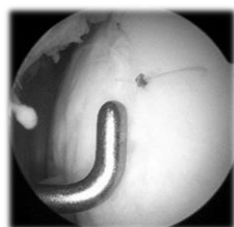
乾燥他家（同種）培養
表皮Allo-JaCE03の
製造販売承認申請を完了

競合優位性

- ✓ 既存の保存療法（運動・薬物）や人工関節置換術とは異なる「**根治**」を目指す**唯一のアプローチ**
※軟骨は一度損傷すると自然治癒する可能性は極めて低い
- ✓ **現時点で同様の作用機序の製品はなし**
- ✓ 既存適応の上市から**10年以上の使用成績の蓄積**
- ✓ 治験結果に基づいた**有効性・安全性**



移植前



移植 6 ヶ月後



移植 1 年後

治験結果：97.4%の修復あり

市場性

- ✓ 従来製品と異なる国民病をターゲットとして、保険適用による再生医療の認知度向上を目指す

OA自覚症状あり

約1000万人

適用となり得る層*

約1万人/年

*手術件数及び
当社製品の適用
条件から推計

初期ターゲット

約1,000人/年

ジャックOAの保険適用条件

OAと診断された患者

保存療法（運動・薬物）で改善せず

軟骨欠損面積が2cm²以上*

*かつ正常軟骨が
一定以上残存

再生医療製品事業の製品ラインナップ

製品

自家培養表皮



国内第1号の
再生医療等製品

自家培養軟骨



日本発の技術による国内
第2号の再生医療等製品

自家培養角膜上皮



眼科領域で国内初の
再生医療等製品

自家培養
口腔粘膜上皮



眼科領域で2つ目の
再生医療等製品

メラノサイト含有
自家培養表皮



患者さんが多い白斑
治療用再生医療等製品

承認取得
保険収載

2007年10月
2009年 1月

①2012年 7月②2025年5月
①2013年 4月②2026年1月

2020年 3月
2020年 6月

2021年 6月
2021年 12月

2023年 3月
2024年 10月

適応対象

①重症熱傷
②先天性巨大色素性母斑
③栄養障害型表皮水疱症
/接合部型表皮水疱症

① 膝関節における
外傷性軟骨欠損症
又は離断性骨軟骨炎
② 変形性膝関節症

角膜上皮幹細胞疲弊症

角膜上皮幹細胞疲弊症

非外科的治療が無効
又は適応とならない白斑

保険
償還価格

採取・培養キット
4,460千円
調製・移植キット
154千円 / 枚

採取・培養キット
1,000千円
調製・移植キット
1,890千円

採取・培養キット
4,280千円
調製・移植キット
5,470千円

採取・培養キット
4,280千円
調製・移植キット
5,470千円

採取・培養キット
4,460千円
調製・移植キット
154千円 / 枚

技術
導入元

米ハーバード大学
Howard Green 教授

広島大学
越智 光夫 教授

伊モデナ大学
G Pellegrini教授・
M De Luca教授

大阪大学
西田 幸二 教授

伊モデナ大学
G Pellegrini教授・
M De Luca教授

✓ 「再生医療の未来を共に創るイノベーションパートナー」として、顧客のシーズの製品化を包括的に伴走支援します。

J-TECが積み上げてきた価値

開発ノウハウ

規制への対応力

上市・製造実績

人脈・信頼

フル機能の保有



×
お客様
との連携

×
臨床現場
との連携

×
TEIJIN
との協働

パートナーと製品を共に届ける仕組みづくり

累計受託件数 296件

項目	件数
製品開発支援 技術移管、試験培養、非臨床試験 分析法バリデーション、SOP等文書作成等	121
薬事系支援 PMDA相談（事前面談・対面助言） 安確法対応等	30
製造・検査支援 治験製品及び細胞加工物	42
臨床開発系支援(CRO) 治験実施計画骨子、統計解析、データマネ ジメント、治験総括報告書作成等	28
設備系支援 製造施設の設計・運用に関するコンサル等	7
その他 営業支援、機器設置、細胞保管等	68

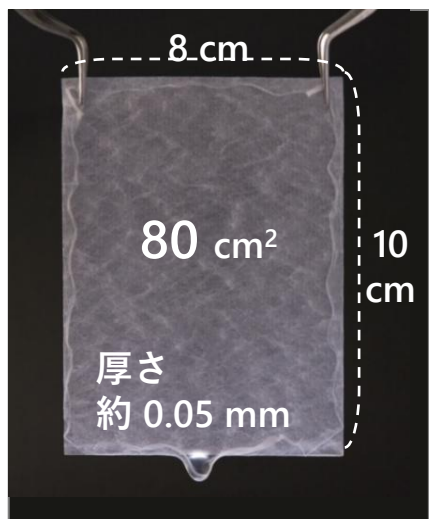
ラボサイト事業のビジネスモデル

- ✓ 再生医療等製品の開発で蓄積した高度な培養技術を応用して、研究用ヒト培養組織「ラボサイトシリーズ」を販売
- ✓ 3次元構造を有するヒト培養組織であり、**外用医薬品や化粧品の開発、皮膚や角膜等を用いた基礎研究**に使用

製品提供の流れ



	ラボサイト エピ・モデル	ラボサイト エピ・キット	ラボサイト 角膜モデル
製品	ヒト3次元培養 表皮 	ヒト表皮モデル 作製キット 	ヒト3次元培養 角膜上皮 
OECD テストガイド ライン収載	皮膚刺激性試験 (TG439) 皮膚腐食性試験 (TG431) 皮膚感作性試験 (TG442D)	—	眼刺激性試験 (TG492)
ISO (医療機器)	皮膚刺激性試験 (ISO10993- 23)	—	—
販売開始	2005年3月	2013年4月	2010年7月



適応対象

① 重症熱傷

受傷面積として深達性Ⅱ度及びⅢ度熱傷創の合計面積が体表面積の30%以上の熱傷を適応対象

② 先天性巨大色素性母斑

母斑面積が体表面積の5%以上の治療等、既存の標準的な治療では母斑の切除に対応しきれない場合に適用

③ 栄養障害型表皮水疱症・接合部型表皮水疱症

4週間程度持続しているびらん・潰瘍及び潰瘍化と再上皮化を繰り返すびらん・潰瘍に対して適用

保険償還 価格

・採取・培養キット 4,460千円

・調製・移植キット 154千円/枚

※高額療養費制度対象

算定限度：（熱傷）40枚 ※医学的に必要がある場合は50枚 （母斑）30枚 （表皮水疱症）50枚

技術導入元

米ハーバード大学 Howard Green 教授

主な施設基準

重症熱傷は施設基準の届出を行っている医療機関、先天性巨大色素性母斑・表皮水疱症は特段の基準なし

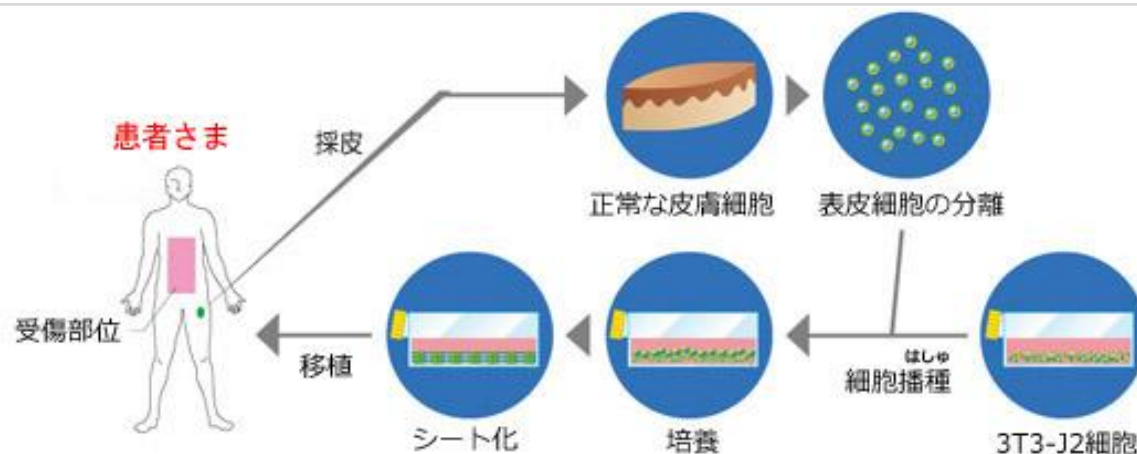
治療 タイムライン

製造・培養期間 組織採取から納入まで約3週間

製品有効期間 56時間

生着期間 1週間で生着、約1ヶ月で表皮が安定

製造プロセス



メラノサイト（色素細胞）含有自家培養表皮ジャスミン



適応対象

- ① **白斑*** *尋常性白斑、vogt-小柳-原田病若しくは化学物質による完全脱色素斑、又はまだら症などの先天性異常による完全脱色素斑
- ・非外科的治療（外用療法や光線療法）が無効又は適応とならない12歳以上の白斑患者
 - ・12ヶ月程度症状が固定

保険償還
価格

- ・採取・培養キット 4,460千円
 - ・調製・移植キット 154千円/枚
- ※高額療養費制度対象であり、
平均所得者の自己負担は22万円程度（所得により変動）

技術導入元

伊モデナ大学 G Pellegrini教授・M De Luca教授

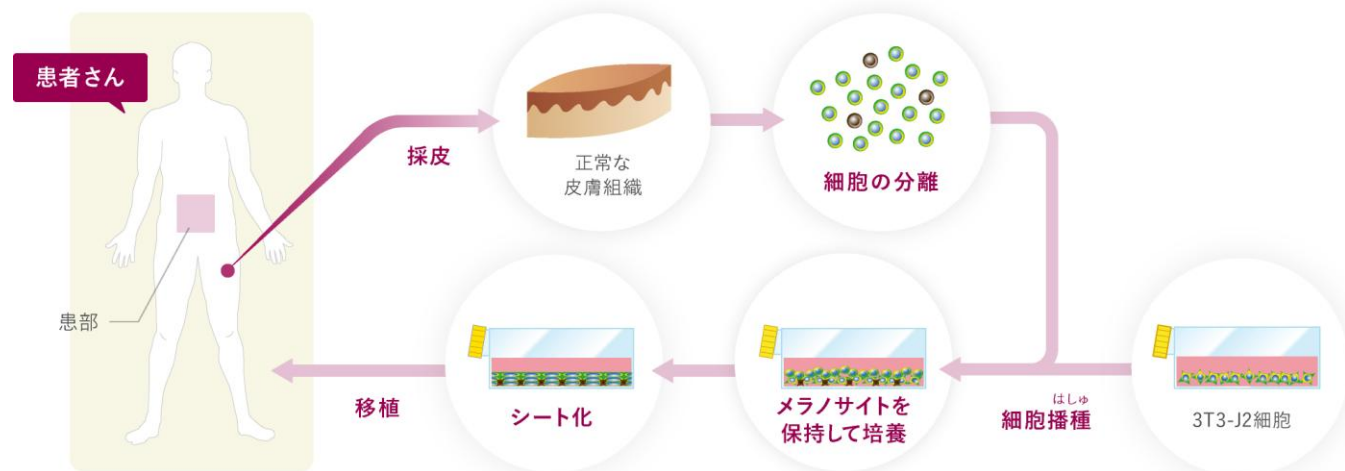
主な施設基準

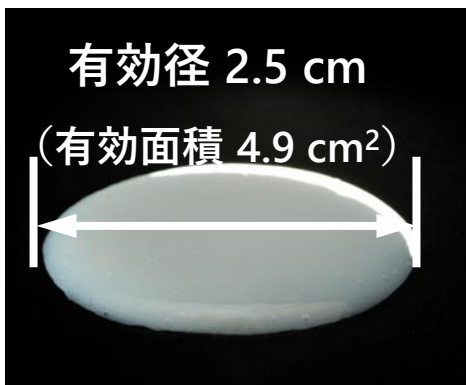
皮膚移植術を3例以上実施した経験を有する常勤の医師、又は経験を有する医師の指導下での手術を実施する常勤の医師

治療
タイムライン

製造・培養期間 組織採取から納入まで約5週間
製品有効期間 60時間
生着期間 1週間で生着、約1ヶ月で表皮が安定

製造プロセス





適応対象

① 外傷性軟骨欠損症・離断性骨軟骨炎

他に治療法がなく、かつ軟骨欠損面積が 4cm^2 以上の軟骨欠損部位に適用する場合に限る

② 変形性膝関節症

運動療法等の保存療法により臨床症状が改善せず、かつ軟骨欠損面積が 2cm^2 以上の軟骨欠損部位に適用する場合に限る

保険償還
価格

・採取・培養キット 1,000千円

・調製・移植キット 1,890千円

使用した個数に関わらず一律

※高額療養費制度対象であり、
平均所得者の自己負担は25万円程度（所得により変動）

技術導入元

広島大学 越智 光夫 教授

主な施設基準

大学病院等の教育・研究施設、または膝関節手術を年間100例以上行っている施設

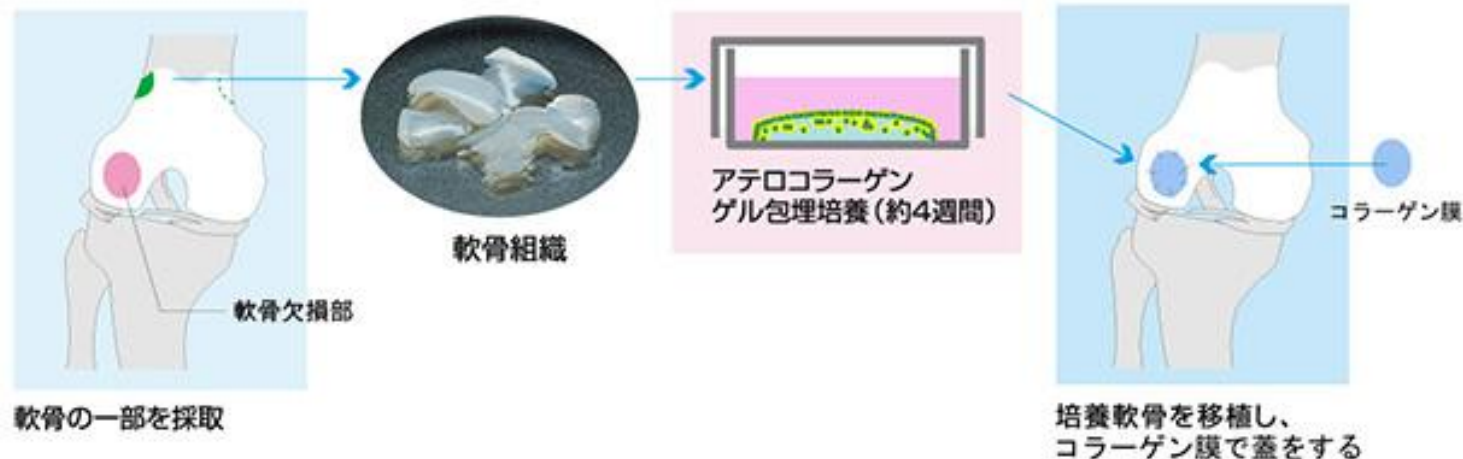
治療
タイムライン

製造・培養期間 軟骨組織の採取から納入まで約4週間

製品有効期間 80時間

生着期間 安定するまで術後約4週間は松葉杖や装具を使用

製造プロセス



自家培養角膜上皮ネピック／自家培養口腔粘膜上皮オキュラル



販売：株式会社ニデック

適応対象	角膜上皮幹細胞疲弊症（LSCD）*
保険償還 価格	・採取・培養キット 4,280千円 ・調製・移植キット 5,470千円 ※高額療養費制度対象
技術導入元	ネピック 伊モデナ大学 G. Pellegrini教授・M. De Luca教授 オキュラル 大阪大学 西田 幸二 教授
主な施設基準	角膜移植の術者経験を有する常勤医師が配置されている施設であること。
治療 タイムライン	製造・培養期間 組織採取から納入まで約4週間 製品有効期間 60時間 生着期間 12週間程度で生着、6-12か月で眼表面が安定
製造プロセス	<div><div>患者さん</div><div>移植</div><div>酵素処理</div><div>細胞を増やすため フィーダー細胞に播種</div><div>分離した 角膜上皮細胞</div><div>培養</div><div>シート化</div><div>シート剥離</div></div> <div><div>ネピック 自家培養角膜上皮</div><div>角膜の輪部組織の採取</div><div>オキュラル 自家培養口腔粘膜上皮</div><div>口腔粘膜組織の採取</div></div>

*ネピックの適応対象は、スティーヴンス・ジョンソン症候群、眼類天疱瘡、移植片対宿主病、無虹彩症等の先天的に角膜上皮幹細胞に形成異常を来す疾患、再発翼状片、特発性の角膜上皮幹細胞疲弊症の患者は除く